

二学期終業式「すべての命を守る」8/27

校長講話

夏休みは元気に過ごしましたか？ 二学期が始まり、みなさんの元気な姿と笑顔を見ることができホッとしています。

今朝、登校した時、驚いたと思いますが、すべての命を守るために、感染対策を今まで以上に強化します。すべてのみなさんが感染しないことが、楽しい学校生活につながるからです。

当たり前のことですが、命をなくしてしまうと、もう明日は来ません。今まで大きな怪我をしたり、病気になったり、学校に来ることができないことがあった人はよくわかると思いますが、とても不安になったり、辛かったりしたと思います。辛い思いをせず、明日も登校できるために、みんなで頑張りましょう。

今日は、校長先生のお話をします。校長先生には、中学2年生の娘がいます。全国的にコロナウイルス感染症が拡大して、全国の学校がお休みになったときは、6年生でした。卒業式はできましたが、中学校の入学式や運動会、多くの行事が中止になりました。それからずっと、みなさんと同じように学校生活が制限されています。

校長先生の家では、1年半以上、家族でどこにも出掛けていません。旅行はもちろん、外での食事も一度もしていません。家の近くをお散歩したり、必要なものを買に行ったりするくらいです。

たくさんのお話を我慢していて、とても辛いことだと思いますが、理由はわかりますね？ 家族全員が絶対に感染しないためです。

ワクチンも家族全員が2回打ち終わりました。それでも、校長先生も、いつ、どこで感染するか分かりません。毎日電車に乗って学校にきています。お仕事で、いろいろな場所に行ったり、たくさんの人と会ったりします。

さて、みなさんのお家ではどうでしょうか？ みなさんも、お友達が夏休みにどう過ごしていたか気になりますか？ 今までだったら、夏休みにどこに行ったとか、楽しかったとか、いろいろなお話をしていたと思います。そして「いいなあ～」とか、「うらやましいなあ～」とか、そういった思いがあったかも知れません。でも、今は、「ずるい！」とか、「自粛なのに、ダメじゃん！」とか、「えっ！感染してない？」とか、他の気持ちになるかも知れません。

でも、ただの観光や遊びで出掛けたのではなく、遠くに住む家族がご病気だったり、どうしても必要なことだったり、そのお家の人でなければ、本当のことは分からないと思います。それをみんなに言い訳のように説明する必要もありません。

そこで、今日はみなさんに2つお願いがあります。

1つは、今お話をしたように、それぞれのお家の事情があります。いろいろなお考えがあって、みんな違って当たり前なのです。ですから、「どこか行った?」とか、「何してた?」とか、あまり言い合わない方が、いいかも知れません。すべてのみなさんが感染しないように過ごしていることは間違いありません。お友達と何でも自由にお話ができないのは少し寂しいですが、相手の気持ちを思って、お話の内容を考えられるといいですね。

もう一つも、大事なことです。校長先生も、いつ感染するか分かりません。突然、お休みするかもしれません。どんなに気を付けていても、これからは、みなさんも同じです。

誰かが休んだり、ずっと学校に来なかったりした時、それもいろいろな理由があります。休んだからと言って「どうしたの?」、「もしかしたら感染してたの?」と心なく聞いたり、誰かが感染した時に「誰なの?」「〇〇さんらしいよ」「あなたなんじゃないの?」などとウワサしたりすることは、とても傷つきます。

みんなが悲しい思いをしないで、楽しく安心して学校生活を送ることができるように、みなさんでして欲しいと願います。

二学期始めから感染症のお話でしたが、とにかく「ひとりに一つの命」を守ることが、一番大事なことです。

かけがえのない命を守って、今日からも楽しい学校生活を続けましょう。